

北海道の死亡野鳥における高病原性鳥インフルエンザウイルス 確定検査陰性について

<北海道同時発表>

令和2年12月1日（火）

北海道倶知安町で、11月17日（火）に回収され、遺伝子検査で陽性となったマガモ1羽（別紙No. 8）の死亡個体について確定検査を実施したところ、本日、高病原性鳥インフルエンザウイルスは検出されなかった（陰性）旨の報告がありました。

このため、11月25日（水）に指定した野鳥監視重点区域は解除します。

1. 経緯

- 11月17日（火） ・北海道倶知安町でマガモ1羽の死亡個体（別紙No. 8）を回収
- 11月25日（水） ・国立環境研究所で遺伝子検査を実施した結果、A型鳥インフルエンザウイルスの陽性反応
・採取地点の周辺10km圏内を野鳥監視重点区域に指定し、野鳥の監視を強化
- 12月1日（火） ・北海道大学が確定検査を実施した結果、高病原性鳥インフルエンザウイルスは検出されなかった（陰性）
・11月25日（水）に指定した野鳥監視重点区域を解除

2. 今後の対応

野鳥サーベイランスにおける全国の対応レベルは、11月5日付けで最高レベルとなる「対応レベル3」に引き上げており、全国での野鳥の監視強化を継続します。

3. 留意事項

- (1) 鳥インフルエンザウイルスは、感染した鳥との濃密な接触等の特殊な場合を除いて、通常では人には感染しないと考えられています。日常生活においては、鳥の排泄物等に触れた後には手洗いとうがいをしているだけで、過度に心配する必要はありませんので、冷静な行動をお願いします。
- (2) 周辺地域のみならず国民の皆様におかれては、「野鳥との接し方について」に十分留意されるようお願いします。

https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/2017yachotonosessikata.pdf

【取材について】

現場での取材は、ウイルスの拡散や感染を防ぐ観点から、厳に慎むようお願いいたします。

【添付資料】

(別紙) 今シーズンの野鳥における鳥インフルエンザ検査状況等

【参考情報】

環境省はホームページで高病原性鳥インフルエンザに関する様々な情報を提供しています。

(http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/index.html)

環境省自然環境局野生生物課	
鳥獣保護管理室	
直通	03-5521-8285
代表	03-3581-3351
室長	川越 久史 (内線 6470)
企画官	立田 理一郎 (内線 6465)
係長	小西 美代 (内線 6477)
係長	中山 裕貴 (内線 6474)

今シーズンの野鳥における鳥インフルエンザ検査状況等
(令和2年12月1日15:00現在)

番号	都道府県	市町村	試料	回収日	簡易検査	遺伝子検査	高病原性鳥インフルエンザウイルス確定検査	野鳥監視重点区域指定状況
1	北海道	紋別市	野鳥糞便	10/24	—	—	10/30 (陽性) H5N8 亜型	指定 10/30 解除 11/23 24時
2	鹿児島県	出水市	環境試料 (水)	11/9	—	—	11/13 (陽性) H5N8 亜型	指定 11/13
3	鹿児島県	出水市	野鳥糞便	11/5	—	11/10 (陽性)	11/17 (陽性) H5N8 亜型	指定 11/17
4	鹿児島県	出水市	死亡野鳥 (オナガガモ)	11/15	陰性	11/17 (陽性)	11/21 (陰性) H2N9 亜型 ※高病原性ではない	指定 11/17 解除 11/21
5	鹿児島県	出水市	死亡野鳥 (スズガモ)	11/16	陰性	11/17 (陽性)	11/21 (陰性)	指定 11/17 解除 11/21
6	鹿児島県	出水市	環境試料 (水)	11/16	—	—	11/20 (陽性) H5N8 亜型	指定 11/13
7	新潟県	阿賀野市	環境試料 (水)	11/16	—	—	11/25 (陽性) H5N8 亜型	指定 11/25
8	北海道	倶知安町	死亡野鳥 (マガモ)	11/17	陰性	11/25 (陽性)	12/1 (陰性)	指定 11/25 解除 12/1
9	鹿児島県	出水市	環境試料 (水)	11/23	—	—	11/27 (陽性) H5N8 亜型	指定 11/13
10	新潟県	阿賀野市	野鳥糞便	11/16	—	11/18 (陽性)	11/30 (陽性) H5N8 亜型	指定 11/25

※今回の案件は太枠内となります。

※今回更新した箇所は赤字となります。

※高病原性鳥インフルエンザウイルス陰性の案件については、番号の箇所を灰色に色づけしています。